

医療機器共同利用のご案内

医療機器共同利用とは、地域で開業されている先生方に当院の医療機器を利用いただき、診断に役立てていただくシステムです。

※ 医療機器共同利用でのお申込みの場合は検査のみとなりますので、当院での診察は行いません。

※ 当院の医療機器共同利用では安全性の観点から、造影剤を使用する検査は承っておりません。

造影検査が必要な場合は診療情報提供書によりご紹介いただき、診察した後の実施となります。

以下の検査をご利用いただけます。

CT検査・MRI検査・骨密度測定検査・マンモグラフィ検査

●CT

80列160スライス装置Canon製「Aquilion Prime SP i-Edition」(2021年10月運用開始)と

64列128スライス装置Philips製「Ingeniuty CT」を運用しております。

両装置ともに、自動露出機構や画像ノイズ除去技術を駆使し、より少ない被ばく線量と高画質を両立させる事を心がけております。

当院CT装置の特長

- ・ 深層学習画像再構成(AiCE)・逐次近似応用画像再構成(AIDR 3D Enhanced、iDose⁴)を活用しての被ばく線量低減
- ・ 金属アーチファクト低減技術(SEMAR、O-MAR)によるインプラント留置後の撮影画質改善



AiCE(Advanced intelligent Clear-IQ Engine)とは、今注目されているディープラーニングの技術を応用した最新の画像再構成技術です。AiCEを用いることで、CT スキャナが持っている最大限の空間分解能を引き出ししながら、高いノイズ低減効果を得ることができます。

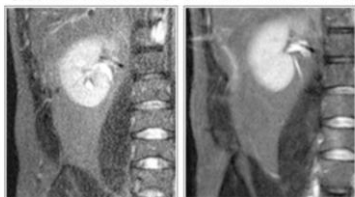
●MRI

Philips製「Ingenia 1.5T」を運用しております。

本装置はデジタルコイルを搭載しており、高精細な画像を短時間で撮影することができます。

また、従来のMRI装置よりトンネル部分が幅広く設計されており、検査中に映像と音楽を楽しむことができるシステムも導入しましたので、閉所が苦手な患者さんにも安心して検査を受けていただけます。

【従来のコイルシステム】 【デジタルコイルシステム】



従来のコイルシステムよりデジタルコイルシステムのほうが高画質の画像を得ることが可能です。

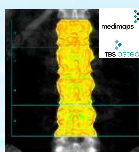
※注 検査内容によっては映像をご覧いただく事ができません



●骨密度測定検査

GE製「PRODIGY Fuga」(フルサイズタイプ)を使用しております。本装置は腰椎、大腿骨の骨密度測定に限らず、全身骨密度と体組成測定、人工股関節周囲の骨密度計測などのアセスメント機能も有しています。

さらに、従来の骨密度評価を補足する指標として注目されている海綿骨構造指標(Trabecular Bone Score:TBS)や大腿骨強度解析(Advanced Hip Assessment:AHA)も提供可能です。各種解析をご希望の場合はコメント記入をお願いいたします。



TBSには以下の制限がございます。

- ◆ 腰椎正面のみ - 股関節または前腕骨の測定は、TBSに対応できません。
- ◆ 成人のみ - 20歳未満の患者さんでは正確ではありません。
- ◆ BMI範囲: 15-37 kg/m²のBMIを持つ患者さんに対して正確です。BMIが範囲外の場合、測定結果の正確性を損なう可能性があります。
- ◆ 日本人のリファレンスグラフは、女性のみ利用可能です。年代は20歳以上、80歳以下です。

※注 通常は腰椎と左大腿骨の骨密度測定を行います。インプラントや骨折などにより検査不適合となる場合、その他の部位での検査も承ります。

●マンモグラフィ検査

FUJIFILM製「AMULET Innovality」を使用しております。

FUJIFILMオリジナルの直接変換FPDを搭載し、低線量化を実現しています。また、画像解析技術を搭載したi-AECにより乳房ごとの適切な線量で撮影します。

当院では、全てのマンモグラフィ検査を女性技師が担当しております。



医療機器共同利用の手順

1. 「検査依頼書」をFAXでお送り下さい。

(検査依頼書は、当院ホームページよりダウンロードいただけます)

- ・ FAX番号 **0296-24-9115** (地域医療連携室直通)
- ・ 受付時間 9:00~16:30 (土日祝・年末年始は除く)

2. 後ほど地域医療連携室より、「検査予約票」をFAXで返信します。

- ・ 検査予約日時、内容等をご確認ください。

3. 患者さんは、検査当日「総合案内」にお越しください。

- ・ 来院の際に持参していただくもの

検査予約票、検査依頼書(原本)、保険証、診察券(受診歴のある方のみ)

- ・ 検査後、画像データをCD-R(無料)で患者さんへお渡しします。
- ・ 検査当日の患者さんへの料金請求はございません。
- ・ 読影レポートをご希望の場合は、後日FAXまたは郵送で依頼元医療機関へお送りします。

ご依頼当日の検査にも出来る限り対応いたします。お気軽にご連絡ください。

お急ぎの場合はTel **0296-24-9113** (地域医療連携室直通)へお電話ください。

医療機器共同利用で行った検査は、ご依頼元の医療機関にて診療報酬算定を行っていただきます。診療報酬請求をしていただきますレセプトには「**画診共同**」と記載をお願いいたします。後日当院から依頼元医療機関へ、撮影料(別途必要に応じて読影料)の部分をご請求させていただきます。

西部メディカルセンター医療機器共同利用料金表 (2021年7月1日改訂)

	撮影料	当院からの請求金額(税込み)
MRI検査	1,330(点)	13,300(円) プラス ご希望の場合 読影料金 2,000(円)
CT検査	900(点)	9,000(円) プラス ご希望の場合 読影料金 2,000(円)
骨密度測定検査	450(点)	4,500(円) (腰椎のみの場合:3,600(円))
マンモグラフィ検査	508(点)	5,080(円) プラス ご希望の場合 読影料金 2,000(円)

※注 腹部MRI検査時、胃・十二指腸の消化液の信号抑制のために**ボースデル内用液**を使用する場合があります。その際は別途1,000円をご請求させていただきます。

● 所在地・駐車場のご案内

茨城県筑西市大塚555番地



駐車場内の事故防止のため一方通行としております。ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。



● 車をご利用の方

北関東自動車道・桜川筑西ICから約15分
筑西幹線道路沿い

● 鉄道・バスをご利用の方

JR水戸線下館駅から筑西市広域連携バス乗車
下館駅北口~西部メディカルセンター前
(約10分)

● タクシーをご利用の方

JR水戸線下館駅から乗車約10分
JR水戸線新治駅から乗車約10分

● 1Fフロアマップ

